

特集 2025トップマネージャーのための新春セミナー

未来のがん治療

～世界をリードする大阪・関西・日本発の医療技術～



閉会挨拶

サラヤ株式会社 代表取締役社長

一般社団法人生産技術振興協会 常務理事 更家 悠介

大阪は大阪万博でヘルスケアのことに力を入れて、大阪・関西に新しい医薬やヘルスケアの発信拠点を作っていききたいという戦略を取っています。今日の先生方のご講演では、がんに関心を合わせて議論いただきました。松浦先生は大阪府の組織の中で、がんセンターが、がん治療を先端的に引っ張っておられることの紹介がありました。次に中村先生は、箕面の国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所という国の組織の理事長として、医療とヘルスケア、殊に先端的がん治療を免疫療法で開発していただいていることのご紹介がありました。中川先生は、がん治療薬の治験を通じた実用化と、研究と臨床をどういう風に結びつけたかというご経験を披露していただきました。新規医療品や治療の実用化については、医療費が今、高齢化でどんどん増えてきているので、どうしてもその予算が不足しています。しかし最後は先生が言われたように、高度先端医療を普及させる決意を持って、我々も大阪で医療界、経済界と共に、皆様とも連携しな

がら対応して行きたいと思います。大阪には中之島クロスという組織が出来上がりました。臨床と研究が一体となって、高度先端医療を実現しようと思っており、これもまた皆様方の組織と連携をとりながら対応して行きたいと思っています。海外の人を日本にもっと呼び込んで、高度先端医療を受けていただくという目的で、一般社団法人日本国際メディカルサポートを昨年設立致しました。外国人への治療は、遺伝子の違い等があるので注意が必要というお話もございましたけれども、その注意も踏まえて、皆様には是非ご理解をいただきたいと思います。また、京都大学 iPS 細胞研究財団 サイラの研究施設、PMDA 関西支部も中之島クロスに越してきています。研究と臨床、PMDA が一体となり、高度先端医療の実現を目指す中で、澤先生の心筋シートの移植、網膜の再生手術も本年には実現されることと思います。皆様のお力もいただいて、頑張っこれらを実現していきたいと思っています。今日はどうもありがとうございました。